

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公表番号】特表2006-509530(P2006-509530A)

【公表日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2004-526446(P2004-526446)

【国際特許分類】

A 6 1 L 24/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 25/00 A

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 L 15/00

A 6 1 M 29/00

A 6 1 M 25/00 4 1 0 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年5月17日(2010.5.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 8】

発泡剤

ある態様において、基体は、架橋剤組成物と組合せた場合に、発泡剤組成物、例えば、その周りに散乱したガス状の気泡を含む組成物を生じるような発泡剤を含むことができる。いずれか都合の良い発泡剤が存在してよく、ここで発泡剤は、架橋剤組成物と接触させた場合に、泡の発生を提供し、結果的にその組成物の望ましい発泡特性を提供するような気体を生じる物質であることができる。例えば、約2～約5質量%の範囲の量の炭酸水素ナトリウムのような塩が、基体中に存在することができる。この基体を、例えばpH約5を有する酸性架橋剤組成物と組合せる場合に、発泡組成物が生成される。